

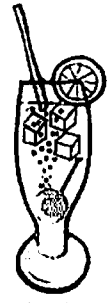
# 玉川教会たより

NO. 465  
1月18日

▼現在放送中のNHK朝ドラ「マッサン」を、楽しみに見ている。そして、特にこの数週間の内容にききさせられる。視聴率が高いそうだし、多くの方が「面白くなった」と思うので、最低限の「マッサン」に触れる。

▼日本最初の本格ウイスキー製造に取り組み、通称「マッサン」が主人公だ。現存するウイスキーメーカーの創業者「マッサン」と呼ばれた男がモデルだと言った。彼は様々な風潮挫折を経て、遂に「国産ウイスキー」を製造、販売にこぎつける。しかし、「これが全く不評で売れない。

▼「マッサン」が目指すのは、本場のスコッチ「真打」に負けない本格ウイスキーだ。しかし、当



## 本物の味覚とは

▼「マッサン」は社長命で、日本人に好まれる時日本人にとっては、あの独特の風味や臭いが嫌われる。多くの人々の正直な感想は、煙臭い、まずいだった。西歐人がこんなものを好むのが理解出来ないと「言いつ。

る「ブレンドの調整」に取り組み。しかし、それは本物から遠ざかることであり、本当は彼の意に染まさない。妥協の産物は、矢張り不評売れなかった。

▼私は初めて「コーラ」を飲んだ時のことを覚えている世代だ。こんな経験は、まずいものを好む人の気が知れないと、当時は思った。しかし、中毒のよう「コーラ」を飲するまで、そんな「時間」はかからなかった。

▼この物語がどうしても、教会、そして脱教に重なる。欧米由来の教会、脱教の独特の風味が、多くの日本人にとっては、受け入れがたいものなのだろう。そんな人は本当の教会、脱教が解らないと「言いつ切り捨てることも出来るだろう。今日本格国産ウイスキーが人気を得ているように、理解され受け入れられる時が来るかも知れない。

▼一方で、「マッサン」が日本人に喜んで飲める、しかし本物のウイスキーを模倣するようになり、好きになつて飲む努力を欠いてはならないとも思う。味が分からないものには売れないという厳格商売では、ひとりよがりという気もする。

一時は廃れたハイボール(ウイスキーの炭酸割り)が、今とても人気だ。しかし、これを邪道だと考える人もいる。

▼結論はない。本物のキリスト教が日本人に理解され、受け入れられるまでは、またまた試行錯誤が続くのだろう。一時的にはまがい物や、イミテーションが流行るかも知れない。

## 2～4月の諸集会

- 諸集会を覚えて、ご加精下さい。
- 信教の自由を盛る日  
2月11日(水・休日)  
教団、教区で集会が予定されています。週報等でご覧下さい。
  - 灰の水曜日(レント)  
2月18日(水)より。  
朝10:00分より、  
夜7:30分より、  
普段通りの聖書研究祈祷会を守ります。
  - 婦人会例会  
2月22日(日) 礼拝後、  
ホテルの部屋で行います。
  - 棕櫚の主日(受難週)  
3月29日(日) 10:30～
  - 受難日、4月3日(金)  
早天祈祷会7:30分より
  - イースター(復活日) 礼拝  
4月5日(日)、  
礼拝後、愛護会を予定しています。詳細は、伝道教育委員会でご確認ください。